日本教育工学会　SIG-MC
2024年度第1回勉強会

2024年10月25日（金）17:30-19:00

オンライン開催（Zoomミーティング）

SIG-MC（マイクロクレデンシャル）設立趣旨

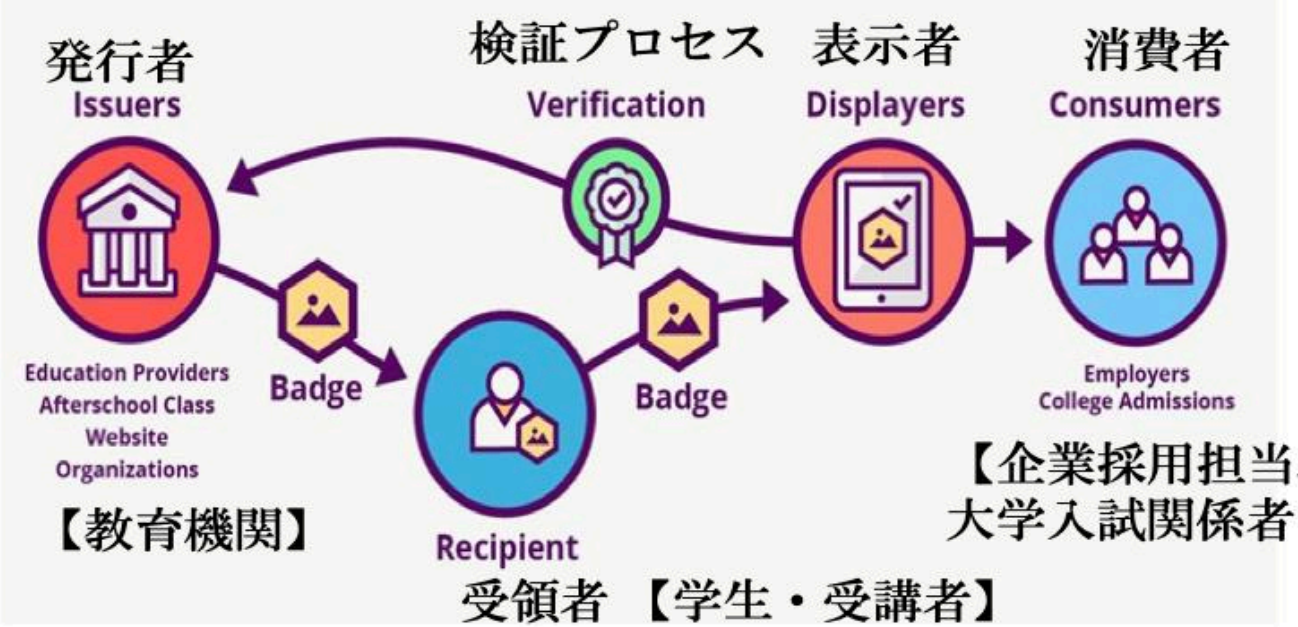
- 学校教育や高等教育、生涯学習にわたり身につけた特定の知識やスキルを証明するマイクロクレデンシャルに関わる研究開発を行う

- 以下のようなテーマに関わる研究を促進する
  - マイクロクレデンシャルの認知と普及
  - マイクロクレデンシャル利用による学習意欲の向上
  - マイクロクレデンシャルを介した学習評価
  - マイクロクレデンシャルを用いるシステム開発

オープンバッジと
マイクロクレデンシャル

- マイクロクレデンシャル
  - 比較的短期間で学べる教育課程の修了を証明する履修証明
  - 複数のマイクロクレデンシャルを組み合わせることで修士号等の既存の履修証明に置き換えることができる
  - 習得するコンピテンシーが明確されているのでリスキリングの機会として利用しやすい（就業機会の獲得）
- オープンバッジ
  - マイクロクレデンシャルを含めた資格やスキルを証明するデジタル証明技術
  - 国際標準規格による発行
  - 最近よく使われているオープンバッジ・ネットワークのツールはオープンバッジの規格に対応したデジタルバッジを発行するシステム

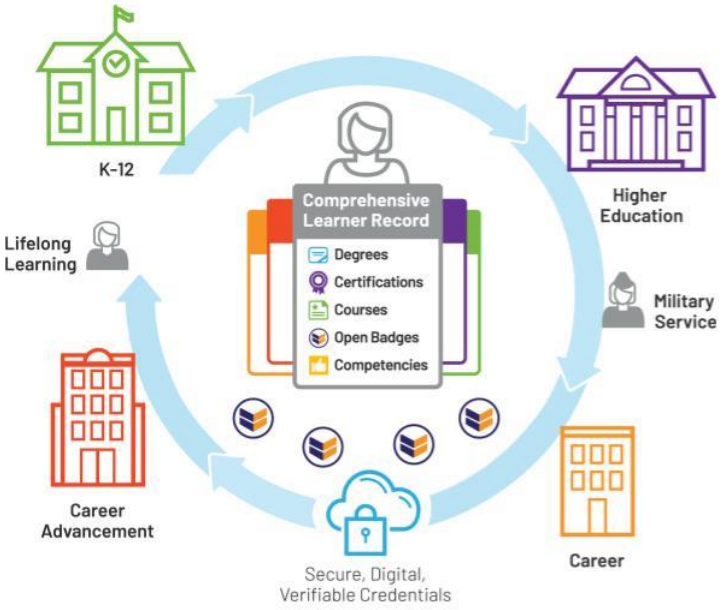
オープンバッジ：
デジタル技術を用いた履修証明



日本IMS協会. 1から学ぶDigital Badges. http://150.60.168.36/file/IMSJC19_DBforBeginners_TokyoOpen.pdf

教育の透明性と相互運用性を高めるマイクロクレデンシャル

- コンピテンシーの透明性
- コンピテンシーに基づいた教育機関間で教育課程を共有
- 教育プログラムの設計、評価、認証プロセスに一貫性
- 初等中等教育と高等教育、生涯教育の接続にも有用



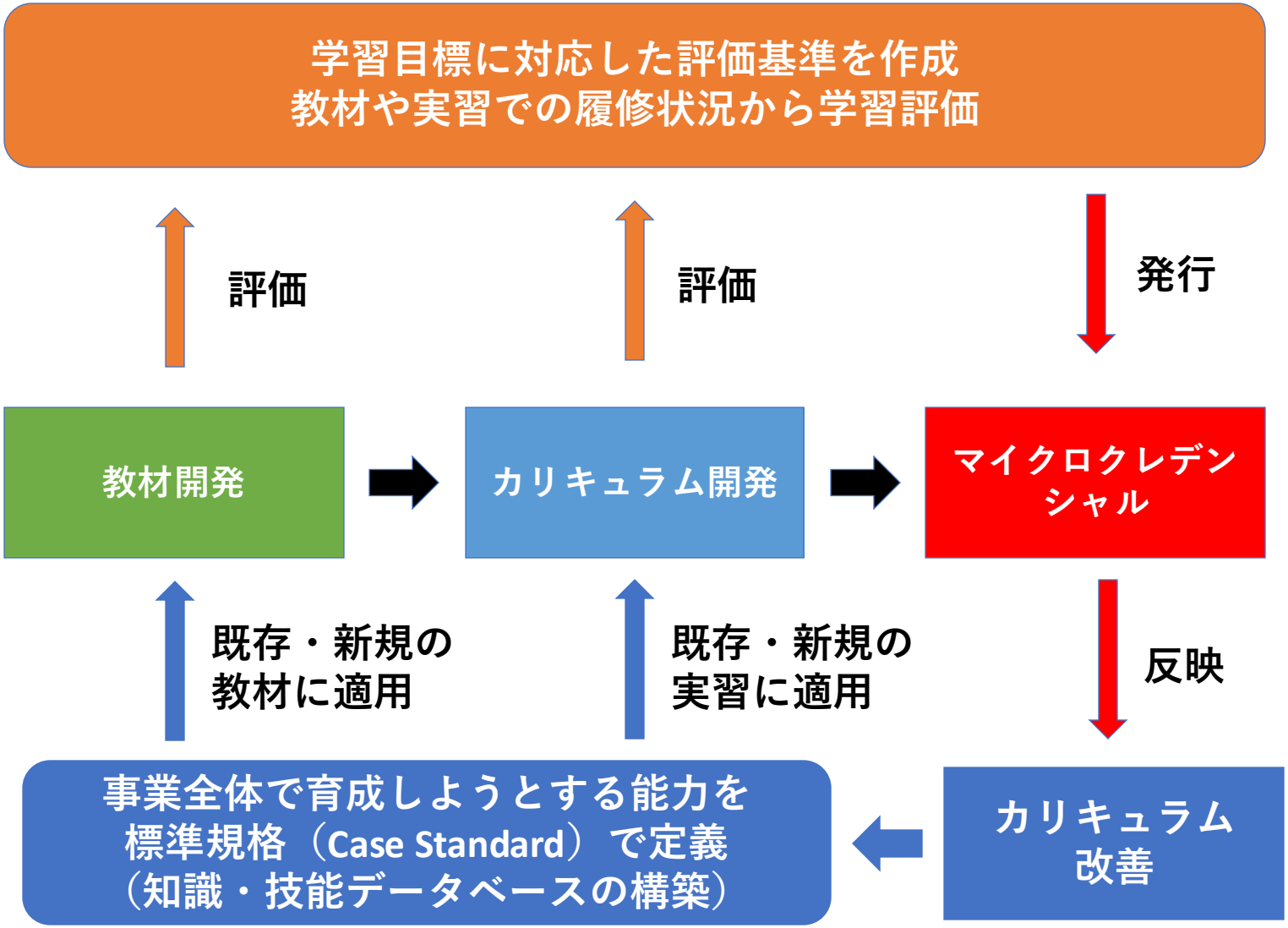
包括的学習者記録
Comprehensive Learners Record(CLR)

マイクロクレデンシャル利用の課題

- 透明性と相互運用性を持たせる手法が課題
  - マイクロクレデンシャルを既存の教育プログラムに導入
  - 既存のカリキュラムやシラバスを
    国際標準規格（CASE）に対応する
  - マイクロクレデンシャルを介した真正性のある
    学習評価を提案する

- 手法や普及に関する先進的な研究は発展途上
- 有効的な利用の普及はこれから
- 研究領域としての魅力

例：学習ニーズに即した教材やカリキュラムを提供する教育システムへの適用



メンバーと活動予定

- 代表　　重田勝介（北海道大学）
- 副代表　　福山佑樹（関西学院大学）
- コアメンバー　池尻良平（広島大学）
- コアメンバー　宮崎誠（帝京大学）
- コアメンバー　杉浦真由美（北海道大学）

- 会員および一般向けのセミナーやワークショップを開催し、最新状況や知見等の共有を図る

第1回勉強会　趣旨

- マイクロクレデンシャルの技術的・制度的課題に焦点を当てる

- 制度的課題について
  - OECDの高等教育のマイクロクレデンシャルに関する報告書の内容を紹介
- 技術的課題について
  - 最新のオープンバッジとマイクロクレデンシャルを発行するシステムの事例を紹介

プログラム

- **17:30-17:40**
  開会挨拶、開催趣旨
  - **JSET SIG-MC代表　重田勝介**
- **17:40-18:00**
  OECD「高等教育マイクロクレデンシャル」の解説
  - **中央大学　澁川幸加先生**
- **18:00-18:20**
  オープンバッジ発行プラットフォーム「オープンバッジファクトリー」の紹介
  - **インフォザイン　斎田健太郎様**
- **18:20-18:50　質疑応答・ディスカッション**
- **18:50-19:00　閉会挨拶**

澁川先生の情報提供（制度的課題）

- 多様な発行主体（教育機関以外でも）
- 分類
  - 積み上げ可能か
  - 国が証明するか
  - 教養指向、職業指向
  - 学習単位の明示（他の仕組みとの互換性）
- スピードと質保証のバランス
- どこが新しくて、どこが新しくないのか？

斎田様の情報提供（技術的課題）

- アライメント
  - 外部の能力枠組みにおける知識やスキルと紐付け
  - ESCO等
- エンドースメント
  - 第三者の裏書き　質保証に使えそう？
- エビデンス
  - 受領者と取得者は何を記録する？
- 他システム連携
  - 既存システムの保守性向上
- ラーニングパスウェイ
  - 異なる機関のバッジを組み合わせる（オフライン活動含め）
  - パスを作るのは誰？

事前にいただいたご質問

- マイクロクレデンシャルを導入するにあたり、大学内で進めるべきプロセスや課題について知りたいと思っています。また、導入を大学だけで決められるのか、届け出や認可などが必要なのかも知りたいです。
- Open Bades、CASEとの連携について

事前にいただいたご質問

- 初等中等での実践の可能性や、スタディ・ログとの関連付けに関心があります
- オープンバッジを取り巻くプレーヤーの位置付けと収益構造今回お話しされるオープンバッジファクトリー様や以下のlecos社、海外だとBlockcerts、Digitaryという名称を聞くが、それぞれがどういう役割を持ちどういう関係性になっているかをお伺いしたいです。https://www.lecos.co.jp/
- 初等中等教育における事例があれば聞いてみたいです